

第6回 BeLive プレゼンテーション イベント 2026.01.31



タイムスケジュール

9:30~10:00 受付

10:00~ 開会

審査員紹介/協賛・後援紹介

開会挨拶 BeLive実行委員長 梶谷 俊介 氏

10:20~ プレゼンテーション

1. 岡山県立玉島高等学校/玉島SDGs高校生アンバサダー「良寛椿の森VR開発PJ」
2. 岡山県立真庭高等学校/真庭バイオマスマイスターズ
3. 岡山県立岡山南高等学校/メディア研究チーム
4. 岡山県立烏城高等学校/烏城高校多目的トイレ調査隊
5. 岡山県立玉島商業高等学校/玉島商業高校探究チーム (タマタン)
6. 岡山県立西大寺高等学校/チームads.txt
7. 岡山県立岡山工業高等学校/ソコの環チーム
8. 岡山県立倉敷古城池高等学校/~高校生がみつけた水鳥の魅力~
9. 岡山県立新見高等学校/ミノリーナ班

12:00~13:00 食事休憩 (60分)

13:00~ プレゼンテーション

10. 倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校/倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校
11. 岡山県立真庭高等学校/竹環
12. 岡山高等学校/ポラポー
13. 岡山県立烏城高等学校/不登校をサポートする学習の施設について

14. 岡山県立倉敷青陵高等学校/BlueFrontier

15. 岡山県立玉島高等学校/土のう開発部

16. 岡山県立西大寺高等学校・菅公学生服・村田製作所/西大寺PIECLEX

17. 岡山県立津山商業高等学校/明日のご飯 (あすのごはん)

18. 岡山県立勝山高等学校蒜山校地/NeoTrad (ネオトラッド)

19. 清心女子高等学校/清心女子高等学校

20. 岡山県立玉島高等学校/玉島SDGs高校生アンバサダー「吸盤付き耐震機の開発」

15:10~ 休憩・アンケート記入 (10分)

15:20~ トークセッション

一般社団法人日本教育DX推進協会 理事長
国立大学法人岡山大学 特定教授 笹埜 健斗 様

16:05~ 表彰・審査結果発表

審査結果発表

審査員長メッセージ

一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事
株式会社中国銀行 取締役頭取 加藤 貞則 様

16:40~ メッセージ

岡山県教育委員会 教育長 中村 正芳 様

16:50~ 閉会挨拶

BeLive実行委員 室 貴由輝 氏

17:00~17:20 フリー (記念撮影/交流)

17:30~18:30 交流会 (ご希望の方)

会場:株式会社山陽新聞社 9階 会議室

主催: BeLive 実行委員会

共催: 一般社団法人岡山経済同友会

後援: 中国財務局 岡山財務事務所、中国四国地方環境事務所、岡山県、岡山県教育委員会、岡山県経済団体連絡協議会、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業家同友会、国立大学法人岡山大学、大学コンソーシアム岡山、株式会社山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

(敬称略)

第6回BeLiveについて

「BeLive」は、^{ビリーブ}高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせた「探究活動・SDGs」の取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

私ども BeLive 実行委員会は、地域の持続可能な社会の実現を目指し、県内の高校生による「探究活動・SDGs」への取組を応援します。行政や企業関係者等の前で発表する機会を提供することを通じて、高校生と行政、企業の連携を深め、地域の「SDGs」活動をより活性化させ、その取組を通じて地元への愛着や関心を高め、企業情報を知ることによって県内就職を考える一助になると同時に、高校生の自由で柔軟な発想に触れることで企業にとっても新たな視点を獲得する機会となることを期待します。

今年度の「第6回 BeLive」では、“高校生×企業”をテーマとして掲げ、複数回のイベントの開催を通じて、高校生と企業が関わりあう機会を創出してまいりました。その取組の集大成として、高校生による「探究活動・SDGs」の取組を発表・表彰する「第6回 BeLive」プレゼンテーションイベントを開催いたします。

目的と期待する効果



「岡山」の発展に寄与

高校生の持つ柔軟なアイデアを活かし、大人だけでなく、子どもたちにも、これからの岡山の発展の一助となる活動に挑戦してもらえる場をつくる



「探究活動」の充実したサポート

高校生の描くイメージや理想を叶えるため、企業から知識や人材・資金など、多方面から具体的な支援を行い、高校生の挑戦をバックアップする



人口減少への対策の一環

活動を通じ、岡山への愛着を育て、県外に進学した場合でも地元で就職したいと感じられる経験を涵養することで、人口の流出に歯止めをかける



リクルーティングのきっかけ

高校生のうちから将来の就職先となりうる魅力的な地場の企業と繋がることで、企業と高校の関係性を密にし、企業の認知度向上に役立てる

実行委員紹介

- 実行委員長** 梶谷 俊介 (一般社団法人岡山経済同友会 顧問)
- 実行委員会事務局長** 廣野 景治 (株式会社 i プランニング KOHWA 代表取締役社長)
- 実行委員** 狩野 光伸 (国立大学法人岡山大学 副理事 DE&I担当/副学長(未来人材創生担当・附属学校園担当))
- 藤木 茂彦 (一般社団法人岡山経済同友会 特命理事)
- 服部 俊也 (一般社団法人岡山経済同友会 SDGs・地域振興委員会 委員長)
- 室 貴由輝 (岡山県教育庁 学校教育推進監)
- 岡山 一郎 (株式会社山陽新聞社 論説委員会 客員論説委員)
- 天野 久美 (株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ サステナビリティ推進部 次長)
- 池上 夏穂 (株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ サステナビリティ推進部)
- 未 来 (株式会社オーリス)
- 川崎 好美 (岡山県総合教育センター 指導主事)
- 甲斐 明日香 (服部興業株式会社 総務部 課長)
- 金谷 彩 (岡山トヨタ自動車株式会社 営業統括室 教育・店舗企画グループ)
- 清田 哲男 (国立大学法人 岡山大学 学術研究院教育学域 大学院教育学研究科 教育学部 教授)
- 住友 加奈子 (岡山県立図書館サービス第二課社会科学班)
- 坂越 生章 (株式会社 i プランニング KOHWA 執行役員 活性化推進室 室長)

審査員紹介

審査員長	加藤 貞則 氏（一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事/株式会社中国銀行 取締役頭取）
審査員	池田 満之 氏（岡山ユネスコ協会 会長）
	江森 真矢子 氏（一般社団法人まなびと 代表理事）
	小野 日向汰 氏（岡山県立倉敷青陵高等学校卒/慶應義塾大学在学/第3回BeLive受賞者）
	西林 哲郎 氏（岡山県総合教育センター所長）
	畑島 美緒 氏（金田コーポレーション株式会社 代表取締役社長）
	平田 英之 氏（てごうたて 代表）
	宮本 由佳 氏（岡山県産業労働部 部長）
	山地 真美 氏（株式会社ベネルート 専務取締役）

審査基準

「理念」「持続性」「主体性」「参画力」「統合性」「発信力」「アイデア」の7つの項目を5段階で評価します。尚、同点のチームがある場合は、審査員の総合的な意見を基に決定いたします。

理 念	誰一人取り残さない、の理念で取り組んでいるか
持 続 性	岡山県の発展のために継続して、実施または実用が可能なものか
主 体 性	生徒たちが主体となり行動的に取り組んでいるか
参 画 力	企業との協働やステークホルダーを巻き込んでいるか
統 合 性	経済・社会・環境における課題解決に取り組んでいるか
発 信 力	チームの取組を外部に発信しているか
アイデア	創造性、革新性など、わくわく感や夢のある取り組みになっているか

表彰各賞

最優秀賞：1チーム

優秀賞：2チーム

審査員特別賞：1～3チーム

BeLive実行委員会特別賞：1～3チーム

参加者アンケート・投票

本日はご参加ありがとうございました。今後のイベント運営の参考にさせていただきたいと思いますので、お手数ではございますが、該当のQRコードよりアンケートにご協力ください。

また、ご観覧いただきましたチームの中で、一番素晴らしいと思ったチームにご投票ください。

参加者アンケート



◀高校生・引率教員様
はこちらから

発表参加チーム以外の
皆様はこちらから▶



オーディエンス投票





1. 良寛椿の森VR開発プロジェクト

岡山県立玉島高等学校

玉島SDGs高校生アンバサダー「良寛椿の森VR開発PJ」

まずは、BlenderやUnityの使い方が難しかったのでチャットGPTなどに聞きながら最初はやった。8月ぐらいから白獅子さんと協力しUnityについてBlenderについての質問をしながら進めていって現状に至る。

2. 高校生がガイドするサステナブル真庭

岡山県立真庭高等学校

真庭バイオマスマイスターズ

「真庭のバイオマスを多くの人に知ってもらいたい」。私たちは1年生から真庭市のバイオマス資源について学び、観光局の方からはガイドの難しさや喜び、お客様への細やかな気配りを教わってきました。最初はガイドを務めることに不安や緊張もありましたが、「自分の言葉」で真庭の魅力を伝えることで、お客様の笑顔が私の自信へと変わりました。この経験を今後も真庭の観光とバイオマスの魅力を発信していきたいです。



3. 選挙報道を通して問うメディアの役割 ～民主主義のための情報発信とは～

岡山県立岡山南高等学校

メディア研究チーム

参院選報道の比較や神戸新聞社への取材を通じ、情報の信憑性を能動的に見極める姿勢を磨いた。情報を鵜呑みにせず多角的に吟味し、曖昧な状況に耐え抜く「ネガティブ・ケイパビリティ」を校内外へ発信する「送り手」としての責任を自覚。この成果を授業開発や新聞発行により学校全体へ還元し、不確実な社会を自律的に生きる「市民」としての資質を育成する取り組みを徹底した。

4. 多目的トイレの設備を調査し、インターネットで 情報発信することで、車椅子利用者の不安を解消する。

岡山県立烏城高等学校

烏城高校多目的トイレ調査隊

大切にしたいことは、障害の状況によって困っていることや感じていることが人によって全く違うので、一人一人の話をしっかりと聞くようにしたことです。私達は当事者ではないので、「こうだろう」と想定した困り事が実際には困っていない場合もありました。実際に困っていることや感じていることは当事者の方でないと分からないという認識で話を聞くように気をつけました。



5. 高校生がつなぐ「共助」！2025ver. 地域の外国人を巻き込む防災力向上プロジェクト

岡山県立玉島商業高等学校

玉島商業高校探究チーム（タマタン）

避難訓練で痛感した「電源喪失時に翻訳アプリは無力」という現場の課題を起点に、災害弱者を生まない「究極のアナログ」を追求しました。苦労したのは、単なるグッズ開発で終わらせず、行政と連携した「公助」の仕組みや、配布を通じて交流を生む「普及モデル」へと昇華させる点です。なぜアナログなのかという必然性を、一貫したストーリーで伝えることに注力しました。



6. ads.txtを用いた広告構造の透明化による フェイクニュース拡散抑制の試み

岡山県立西大寺高等学校

チームads.txt

探究内容について、この視点での先駆者が知る限りは居ないため、仮定が正しいかどうかを問い、特にきちんと精査する必要・責任があったため、この部分には力を入れた。また、フェイクニュースからなぜads.txtの話としたかを理解していただくために、わかりやすい表をつくる必要があり、これを作るには自分たちがまずしっかりと理解をしてまとめるという作業が大変だった。

7. 工業高校生の力で総合公園に活力を！ ソコの環プロジェクト発信！

岡山県立岡山工業高等学校

ソコの環チーム

ソコの環プロジェクトを通して、地域住民の方やランチ岡山北長瀬を訪れる方々が快適に過ごせる空間づくりを一番大切にしてきました。コンセプトを考えた時、岡山市の方と協議したりと慣れないことが多く、苦労が絶えませんでした。中でも、クラウドファンディングを開設するまでのページ作りは、すべてが初めてのことで不安でしたが、経験のある企業の方からアドバイスをいただき、支援の場を設けることができました。



8. ～高校生がみつけた水島の魅力～ 水島コンビナートクルーズ&バスツアー企画で地域の活性化を！

岡山県立倉敷古城池高等学校

～高校生がみつけた水島の魅力～

私たちは、水島の魅力が伝わりきっていない現状に対し、「誰一人取り残さない水島」を目指して、体験型ツアーづくりに挑戦しました。水島の歴史や昭和レトロな街並み、産業や環境配慮の工夫など、まちの魅力をどう伝えるかを考え、ツアープランやガイド原稿づくりに取り組みました。地域とともに歩む中で、相手を意識して考える力や、仲間と協力して形にする力が身につきました。私たちの成長ストーリーをお伝えします。

9. 「育てる」「売る」へ高校生×ミノリーナへの挑戦

岡山県立新見高等学校

ミノリーナ班

ミノリーナを活用したイタリア野菜の研究では、地元企業と新見高校生の両方が成長できることを大切にしてみました。実際の生産現場を意識した栽培を行うことで、教科書だけでは学べないことを多く学ぶことができました。一方、校地統合により実習地までの移動が大変で、時間の使い方や作業計画を工夫する必要がありました。これらの経験を通して、協力することの大切さや主体的に行動する力が身についたと感じています。



10. 茶道×坐禅×老舗=玉島リバイバル —高校生がつなぐ伝統と未来の縁(え)にし—

倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校

倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校

大切にしたのは、二校の強みを合わせて、玉島の伝統を「起業家の心の支え」という若者に響く魅力に変えることです。一番苦労したのは、ただのアイデアで終わらせないことです。お寺や企業、旅行会社の方々とも何度も話し合い、本当に実行できて、これからもずっと地域に貢献できる「仕組み」を作ること、一番こだわり、泥臭く頑張りました。



11. 竹害を価値に変える！ 竹パウダーで築く地域循環ビジネス

岡山県立真庭高等学校

竹環

家の近くの竹林を何とかしたいという経営ビジネス科の先輩の思いから始まったこのプロジェクトは食農生産科と経営ビジネス科の合同チームでの研究となりました。自分たちの力だけでは放置竹林の解消は難しいです。竹パウダープロジェクトによって、地域循環ビジネスをモデルとして全国各地の放置竹林が解消されることを願っています。

12. 未利用魚「ボラ」の商品化を通じた 海洋課題解決啓発活動

岡山高等学校

ボラボー

瀬戸内海で里海を学ぶ中で、ボラが辿ってきた数奇な歴史に心を動かされました。かつては愛されていたボラが、高度経済成長期の水質汚染を境に、「臭い魚」と敬遠されるようになった事実に、里海の消失の危機感を感じたからです。私達は、「シマレットのぼっかけ」を通じて、ボラをブランド化しその価値を再定義することこそが、里海再生のカギとなると確信しています。美味しいボラを囲む、豊かな食文化を繋いでいきたいです。



13. 不登校をサポートする学習の施設について調べ、 自分たちが感じたことを発表する。

岡山県立烏城高等学校

不登校をサポートする学習の施設について

調べる際には、気になったことや詳しく知りたいことを積極的に質問し、説明を聞くなど、探究心を大切にしました。最初は不登校を支援する施設についてあまり知らなかったが、分からないことをそのままにせず質問することで、自分たちが知らなかったことを多く知ることができた。一方で、不登校はどうしてもセンセーショナルな内容であるため、調査の際に緊張してしまったり、スライド作成では構成や伝え方を考えるのに苦労した。



14. スマートグラスを用いた 新しい観戦スタイルの提案

岡山県立倉敷青陵高等学校

BlueFrontier

どうすれば自分たちの考えを企業など周囲の人達に対して伝えることができるのか、伝えられるようなスライドを作成することに苦労しました。いろいろな案を考えてみたりしたが自分たちの考えの芯である「スポーツ振興、特に試合の観戦者の増加」がブレないように大切にしました。



15. 誰もが持ち運びやすい土のうの開発& 籾殻から高吸水性ポリマーの合成への挑戦

岡山県立玉島高等学校

土のう開発部

私たちが大切にしたのは、防災用品を実際に使う高齢者の立場に立ち、実用性と信頼性を意識して研究を進めることである。軽量で持ち運びやすい土のうを目指し、ポリマーの配合量を変えながら吸水性と重量の関係を検証した。測定誤差や個体差に苦労したが、条件の統一や測定方法の見直しを重ねた。また、植物性ポリマーの可能性を探るため化学班と協力し、環境と防災の両立について考えを深めた。





16. 土に還る生地PIECLEXを普及させるためには

岡山県立西大寺高等学校・菅公学生服・村田製作所
西大寺PIECLEX

村田製作所様に見学に行かせていただいたり、菅公学生服様に生地を頂いて実際に試作品を作ってみたりすることで、まずは自分たちがPIECLEXについて実際に触れて、知るということを大切にしました。実験や試作品で望むような結果が得られないこともあり、苦勞しました。しかし、そこで諦めずに新しい発見やアイデアを得て、次の探究に活かすことができました。

17. 子ども食堂の活用と発展

岡山県立津山商業高等学校
明日のご飯（あすのごはん）

子ども食堂の企画で大切にしたいことは、子どもたちが安心して楽しく参加できることです。クリスマスパーティーというテーマを取り入れ、交流しやすい雰囲気づくりや、安全・衛生面への配慮を意識しました。一方で苦勞したことは、包丁や火を使う場面での事故防止や、アレルギー対応、予算内でのメニュー決めなど、実際の運営を想定して細かい点まで考えることでした。



18. 伝統食品と伝統工芸品を組み合わせたふるさと納税の返礼品をプロデュース

岡山県立勝山高等学校蒜山校地
NeoTrad（ネオトラッド）

甘酒や漆器を作られている方々が大切にしてきた思いや背景を、丁寧に受け継ぎ、形にすることを最も大切にしました。蒜山のものにこだわったことで、開発や調整には多くの時間がかかり、思うように進まない時期もありましたが、地域の方々と対話を重ねながら、少しずつ実現へと近づけることができました。



19. 美観地区におけるユニバーサルツーリズムの実現

清心女子高等学校
清心女子高等学校

私たちは企業の方に協力いただきWHILLを活用したフィールドワークを倉敷美観地区で実施し、段差や道幅、混雑による移動のしづらさを体験的に理解することができました。私たちは活動を通して、移動の不便さを抱える人の立場に立つて考えることを大切にしました。また、歴史的景観を守ることと利便性を高めることの両立を意識し、多様な人が安心して観光を楽しむ方法を話し合いながら探究を進めました。



20. 机に脚ではなく“吸盤”を ～地震の揺れに耐える新発想～

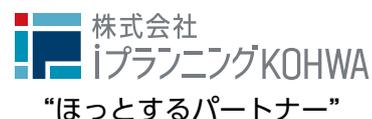
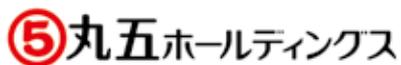
岡山県立玉島高等学校
玉島SDGs高校生アンバサダー「吸盤付き耐震机の開発」

本研究において大切にしたいことは、震災時、この吸盤付き机に命を預ける以上、吸盤がはずれないようにしないといけないので、そこをしっかりと意識して吸盤の吸着力を測定しながら吸盤がはずれないような工夫をたくさん入れることを大切にしました。苦勞したことは、吸盤1つの吸着力を測定するときに空気漏れで吸盤が剥がれたので空気漏れをなくそうと工夫したけれどなかなかうまくいかなかったことです。





第6回 BeLive



第6回BeLiveスタートアップイベント



第6回BeLiveキックオフイベント



第6回BeLive岡山県立図書館コラボイベント

協賛企業ご紹介 (敬称略・五十音順)



KSB瀬戸内海放送

高校生と見つける
私たちのSDGs

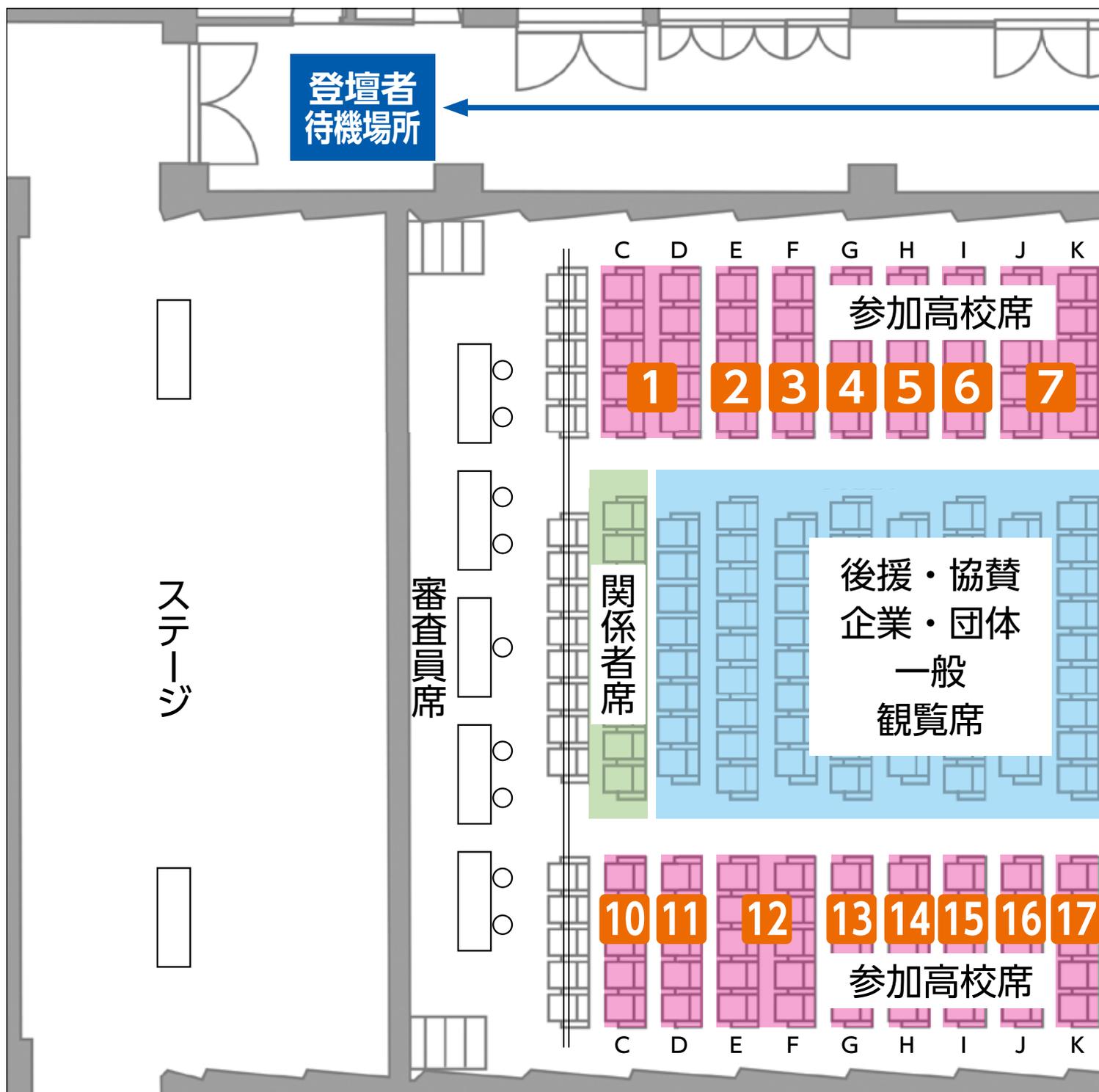
豊かな食シーンを、岡山から世界へ。



一般社団法人 岡山経済同友会



ご協賛いただきありがとうございます。



参加チーム席表

※各チーム毎に、指定番号の席におかけください。

- 1 岡山県立玉島高等学校／
玉島SDGs高校生アンバサダー「良寛椿の森VR開発PJ」
- 2 岡山県立真庭高等学校／真庭バイオマスマイスターズ
- 3 岡山県立岡山南高等学校／メディア研究チーム
- 4 岡山県立烏城高等学校／烏城高校多目的トイレ調査隊

- 5 岡山県立玉島商業高等学校／
玉島商業高校探究チーム（タマタン）
- 6 岡山県立西大寺高等学校／チームads.txt
- 7 岡山県立岡山工業高等学校／ソコの環チーム
- 8 岡山県立倉敷古城池高等学校／
～高校生がみつけた水島の魅力～
- 9 岡山県立新見高等学校／ミノリーナ班



交流会にご参加の方

交流会は
株式会社山陽新聞社
本社ビル9階 会議室
にて行いますので、
17時30分までに
ご移動ください。

株式会社山陽新聞社
本社ビル 9階 会議室

交流会会場

- 10 倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校／
倉敷翠松高等学校&岡山県立玉島商業高等学校
- 11 岡山県立真庭高等学校／竹環
- 12 岡山高等学校／ボラボー
- 13 岡山県立烏城高等学校／
不登校をサポートする学習の施設について
- 14 岡山県立倉敷青陵高等学校／BlueFrontier
- 15 岡山県立玉島高等学校／土のう開発部

- 16 岡山県立西大寺高等学校・菅公学生服・村田製作所／
西大寺PIECLEX
- 17 岡山県立津山商業高等学校／明日のご飯（あすのごはん）
- 18 岡山県立勝山高等学校蒜山校地／
NeoTrad（ネオトラッド）
- 19 清心女子高等学校／清心女子高等学校
- 20 岡山県立玉島高等学校／
玉島SDGs高校生アンバサダー「吸盤付き耐震機の開発」



掲載企業
募集

おかやまSDGsマップ

~企業と高校生をつなぐ~

「おかやまSDGsマップ」は『おかやまSDGsマップ COMPANY GUIDE BOOK 2021』として、一般社団法人岡山経済同友会様と株式会社中国銀行様が「県内企業73社のSDGs活動・取組み」をまとめた冊子を2021年3月に発行し、新しい学習指導要領の柱である『社会に開かれた教育課程』の実現に向けて、岡山県内の高等学校や特別支援学校等に配付されました。この度、WEB版「SDGsマップ」として、検索機能や利便性を向上しバージョンアップいたします。地域の企業と教育現場をつなぎ、SDGsへの理解と実践を促進するためのツールとして活用いただけます。

purpose 目的

- ・地域全体で取り組みSDGs先進県を目指す
- ・サステナブル（持続可能）な社会づくりに向けた活動の推進
- ・岡山県の人口減少問題の解決への貢献
- ・高校生のSDGs・探究活動のサポート
- ・高校生の斬新なアイデアの発見
- ・新しい課題解決策やビジネスモデルの発見
- ・高校生・高校教員のスキルアップ（教育支援・育成）

コンテンツ(案)

- 概要
企業概要／事業内容／企業情報／対応窓口・・・など
- SDGsに関する取組み
SDGs取組みのポイントと目指すゴール／取組みのきっかけ／具体的な取組み内容／現在の課題／SDGsキーワード／高校生に対するサポート内容／高校生へのメッセージ・・・など

management 運営

- 費用
初年度費用（登録費・掲載費・編集費）2万円（税別）／年間
次年度以降 1万円（税別）／年間 更新：年1回（弊会事務局にて対応）
- 連携（予定）
岡山県教育委員会WEBサイト等
ボードゲーム（おかやま地域発展協議体開発中）

SDGsへの取組みを“見える化”し、企業価値を向上!

おかやまSDGsマップは、貴社の具体的なSDGsへの貢献内容を可視化し、認知度向上と新たなビジネスチャンス創出を強力にサポートするツールとなります。

メリット

- 企業ブランドと信頼性の向上
 - ・ブランドイメージと認知度の向上
 - ・ステークホルダーへの効果的なアピール
- 人材獲得と定着の強化
 - ・優秀な人材の確保（採用ブランディング）
 - ・定着率と社内エンゲージメントの向上
- 企業間の連携
 - ・高校生がハブとなり企業間連携を創出
 - ・BtoB連携の促進
- 新たなビジネス機会と優位性の創出
 - ・共創の機会の創出（高校生との協業、企業間同士の協業）
- リスク管理とSDGs活動の最適化
 - ・リスク管理と企業活動の透明性の向上
 - ・SDGs活動の精度・継続性向上
- 最小限のコストで最大のPR効果
 - ・年間1万円（税別）の掲載料で幅広い分野へのPRが可能（初年度のみ年間2万円（税別））
- スタッフのスキルアップ
 - ・社内の研修機会の創出
 - ・SDGsに対する意識の向上

お申込み

マップへの掲載をご希望される企業・団体様を対象に、仮申込みを受け付けさせていただきます。
右記二次元コードより、お申込みください。



仮申込みフォーム